

つるがしま里山サポートクラブ 活動報告書（令和7年度）2025

活動日時	月	日	曜日	開始	終了	場 所	会員参加数
	12	20	土	8 : 3 0	1 3 : 00	につさい堀込市民の森	6 名
活動名称	一二三富の会 につさい堀込市民の森で門松教室					報告者：吉井 優	

1、活動目的

2015年から実施している一二三富の会門松教室が今年も開催されました。我々の友好団体である坂戸のNPO法人一二三富の会から援助依頼があり、応えたものです。我々のイベントにも一二三富の会から協力者を派遣してもらっています。近隣の様々な友好団体と交流することは、我々の活動を広げてくれ、我々の参考になることもあります。

2、活動内容ほか

一二三富の会は、前日から入念に準備し、イベント開催につなげることが、当クラブと異なるところです。開催当日も、7時半に会員が集合し、準備作業を初めていました。12月14日は、雨天予報で、見事に10時ごろ雨が降り出しました。しかし、弱雨だったことと森の中なので少し濡れる程度でした。門松づくりに没頭している参加者は、気にせず作業を続けていました。我々外部スタッフは、8時半ごろから合流、準備に加わりました。門松製作は、参加者を3組ずつにチーム分けをし、各チームにスタッフが指導するスタイルで実施されました。私と柳川氏は、各1チームを担当し楽に指導できました。作り方は、鶴ヶ島と同じですが、竹の中央を縛る縄をシュロ縄にしていることが異なっています。

11時半頃すべての作業を終了し、参加者、スタッフ全員の写真を撮り終了としました。その後スタッフは弁当をいただき、スタッフが自分の分の門松を作り、解散しました。

3、評価：

32組参加で80人弱の参加人数となりました。みんな楽しく門松づくりに励んでいました。我がクラブも募集開始後2日目で定員となり、坂戸一二三も、鶴ヶ島里山も人気のあるイベントですので、竹の有効利用により竹林整備を進めることができるイベントです。地域の多くの団体で門松教室が開催されることを願います。

4、課題

毎年同じ提言ですが、一二三富の会も高齢化が進み、イベントのスタッフを充分確保できない状態です。それに対して、プレーパークや門松教室の認知度が上がり、リピーターが増えてきており、参加者が増えている印象があります。当クラブも一二三富の会や地域の団体に、協力を依頼して、イベントを開催していますが、坂戸一二三も友好団体と協力しないと、イベントが成立しなくなるようになりつつあります。団体の高齢化は、避けられないことですので、お互いに協力して、活動を続けていきましょう。

<里山参加会員>

吉井、柳川、石川（木部）（吉富）（田中）（）は親子劇場組織名で参加

<活動写真>

